

大学入学共通テスト「国語・数学の記述採点」に関する 準備状況について

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、大学入学共通テスト「国語・数学の記述採点」に関して、現在の私どもの準備状況についてのお問い合わせをいただいております。

大学入学共通テストにおける「国語」及び「数学」の記述式問題採点関連業務一式（以下、「共通テスト記述採点業務」という）は、独立行政法人大学入試センター（以下、「大学入試センター」という）より、弊社が受託しております。なお、弊社は株式会社ベネッセホールディングスの100%子会社であり、アセスメントの採点を専門とする会社です。

弊社は受託事業者の立場にありますが、この度、大学入試センターと協議の結果、弊社の採点に関する準備状況について、情報を提供させていただくことにしました。

つきましては、弊社より、共通テスト記述採点業務に関する現時点での準備状況の一部を、ご説明させていただきます。

謹白

記

1. 共通テスト記述採点業務に関する受託内容

弊社が、大学入試センターより受託している内容は、以下の通りです。

1. 共通テストにおける「国語」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」の記述式問題の採点業務
2. 「大学入学共通テストの記述式問題の採点に関する準備事業」の検証支援業務

これらを遂行するための弊社の準備状況をご説明いたします。

2. 大規模なテストにおける高い品質の採点とは

大規模なテストにおける高い品質の採点を実現するために大切なのは、統一された基準に基づいて採点が行われることであり、採点結果にブレが生じないことです。

したがって、弊社では大規模採点において、採点の公平性を担保するため、以下3点を採点業務の体制・仕組みとして取り入れ、公平でブレがない採点を行えるよう準備をしています。

- ・ひとつの解答に対して複数の採点者が多層的・組織的に採点を行う体制
- ・すべての採点者が、正確な採点を行うことができるための研修制度
- ・多様な解答を踏まえた採点マニュアルを作成するノウハウ

3. 採点の体制

短期間で、大規模な採点を、高い精度で実施するために、多層的・組織的な採点体制を構築しています。

採点は設問ごとに3人以上の採点者で行います。まず、2人の採点者が独立して採点を行い、採点結果が一致する場合は、3人目の採点者が採点結果の正しさを確認します。2人の採点者の採点結果が異なる場合は、上位採点者が採点をし、必要に応じてさらに上位の採点者が責任をもって判断・採点を行います。なお、上位採点者は、採点者の中から資質や、採点の習熟度・経験等を踏まえて任命された者で構成されています。

さらに、教員や講師の経験者などで構成する品質管理専門組織によって、採点の品質管理を行います。この品質管理においては、採点結果が一致しない要因などを分析・精査し、採点者へフィードバックを行うことで、採点過程での精度向上、効率化を図ります。

なお、この採点体制が適切に運用され、かつ採点結果および品質が適正であることに対しては、採点責任者が全体の責任をもち、その採点責任者は弊社社員が担います。

これらの過程においては、大学入試センターからの点検を受け、適宜、採点責任者と協議を行いながら、採点を進めることで公正性の担保に努めてまいります。

この多層的・組織的な採点体制により、品質を向上させ、採点ミスが極めて発生しにくい環境を構築しています。

4. 採点の工程・仕組み

以下の工程・仕組みを取り入れることにより、高い精度の採点を実現しています。

□採点者の選抜制度

採点者は、教員や講師等の経験者を含む、大学・大学院の学位取得者又は在籍者です。

質の高い採点者とは、高い教科力および、採点基準に則り正確に採点する力を持つ者を指します。そのため、採点者の選抜プロセスでは、学力試験、採点業務への適性試験および面接を課し、選定評価基準に合格した者を採点者として登録します。共通テスト記述採点業務の従事者は、その登録された採点者の中から、筆記試験および面接の結果や、過去の採点実績等も考慮して、選抜いたします。

□採点者の研修制度

採点業務にあたる前に、業務上の守秘義務など情報管理に関する研修、採点を行うシステムの操作に関する研修、例題を用いた採点演習等、複数回の研修を行います。担当科目別に研修を行うことで、科目特性に応じた採点基準の理解を徹底し、合格基準に達した採点者のみを採点業務に従事させます。また、役割に応じた研修プログラムを行うことで、本業務に必要な知識・スキルの習得を徹底します。加えて、採点期間中は、毎日、業務開始前に必ずテストを受けさせ、合格点に達した採点者のみを採点業務に従事させます。

□採点の正確性の向上

採点基準は大学入試センターより提供されます。

採点の正確性の向上のためには、採点基準を基にした多様な解答を正しく評価できる採点マニュアルが不可欠です。特に、大規模採点における採点マニュアルは、個人の主観による判断が入る余地をなくし、統一した採点ができるようにしなければなりません。採点マニュアルの作成にあたっては、多様な解

答に対応できる考え方や採点者の迷いやすいポイントを網羅することで、正確な採点を実現いたします。

□採点業務

すべての解答用紙をスキャンしてPC画面上で採点する「デジタル採点方式」を取り入れています。採点者の画面には解答部分のみが表示され、採点マニュアルと照らし合わせながら評価を入力します。採点者は1つの設問を専任で担当しており、担当設問の採点に集中、特化することで、精度の高い採点が可能となります。なお、採点業務については、大学入試センターと密に連携を取りながら実施いたします。

□品質チェック

複数の観点による品質チェックを行うことで、ミスを未然に防ぎます。

例えば、同じ採点結果ごとに答案を分類し比較することで、採点結果にブレがないかを検知できるようにします。また、品質管理専門組織の管理者が定期的に採点結果のモニタリングを行うことで、採点の品質を担保しています。

これらの採点の工程・仕組みにより、採点者個人の属性に依存することなく、高品質な採点を実現することが可能となります。

5. 情報管理・セキュリティ

すべての解答データは個人情報が入り離れた状態で、大学入試センターから受け取り、専用サーバにて厳重に管理・保管しています。このため、弊社では個人を特定することはできません。

採点は専用の採点会場のみで集合形式にて行います。許可された採点者のみ入れるよう、セキュリティゲートで入室を制限し、携帯電話や電子媒体等私物はすべてロッカーに保管し、金属探知機を用いて持ち込みがないか確認します。採点者が使用する端末は、インターネットへのアクセスや、外部記録媒体への書き出しが、物理的に行えないように制御されています。また、採点会場は監視カメラで24時間監視を行っています。これらにより極めて機密性の高いセキュリティ環境を構築しています。

6. 共通テスト記述採点業務の受託にあたって

弊社の年間の採点枚数は3,000万枚（2018年度）におよびます。また、ベネッセグループにて毎年7月に実施する高校生向けの記述式学力テストでは、1・2・3学年合計で約130万人が受験されています。このとき、弊社が採点している5教科の答案枚数は合計457万枚におよびます。その答案を約20日間で安定的に返却しています。

ベネッセグループが長年積み上げてきた記述式学力テストの採点に関する知見・ノウハウが、日本の教育の発展に貢献できればと考え、今回の記述採点業務に応札いたしました。私たちは、受験生一人一人の将来を左右する重要な局面において、公平・公正な入試を実現すべく、大学入試センターの指導の下、引き続き、最善を尽くしてまいります。

以上